

令和5年度 校内研究の全体計画

1 研究主題

「自分の考えを広げ深める児童の育成」
～国語科を中心とした話し合い活動の工夫を通して～（2年次）

2 主題設定の理由

学習指導要領に示されている、予測困難な変化の激しい社会を切り拓いていくために必要な生きる力を育むため、学校教育全体を通して三つの柱、生きて働く「知識及び技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養の資質・能力を育てることが求められている。

昨年度の校内研究は、物語文教材を中心に「多様な考えにふれることができる話し合い活動」や「もう一度自分の考えを見つめ直す時間」に力を入れ、児童が自分の考えを広げ深めようとする意識をもてるようになってきた。具体的には、昨年12月に行った意識調査の「友達の考えを聞いて、自分の考えをより良いものにならうと思ったことがありますか」で、本校の93%（95人中88人）の児童から「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が得られた。

昨年12月の県学習状況調査の国語科の結果を見ると、全学年が県平均正答率を上回っていた。しかし、物語文教材での読解力の向上はしているものの、「目的に応じて、文章から必要な情報を見付ける」「目的に応じた取材の進め方を捉える」「必要なことを質問しながら聞き、自分の聞きたいことを中心に捉える」においては、課題が見られた。

本校の課題は、説明文教材での読解力の向上にある。

そこで、今年度は、説明文教材「読むこと」に的を絞り学習指導法について研究する。具体的には二つある。一つは、児童が自らの考えを広げ深めるために、「思考の見える化」を図る。具体的には板書、発問、ノート、付箋紙、ワークシート、ホワイトボード、学習用端末など、様々な思考ツールを組み合わせ、児童に深く考えさせる。もう一つは、「思考の見える化」を通して、「順序、共通、相違、比較、具体、抽象、含有、頭括、仮定」など「思考スキル」を身につけさせる。「思考の見える化」を通して読解力の向上を図る。

今年度も、児童が自分の考えをもとに、「多様な考えにふれることができる話し合い活動」、他者の考えを聞いて、自分の考えと比べながら、もう一度自分の考えを整理する「自分の考えを再度見つめ直す活動」を取り入れる。具体的には、二人・グループ・全体などのさまざまな話し合い活動の形態を児童の実態に応じて仕組み、児童が自分の考えを付加、修正、強化しながら、考えを広げ深めることができるようにする。

3 主題における目指す児童の姿

○「自分の考えを広げ深める」とは…

- ①付加…他者の考えを聞いて、納得したり、考えを増やしたりする。
- ②修正…他者の考えを聞いて、自分の考えを変えたり、より良いものにしたりする。
- ③強化…他者の考えを聞いて、自分の考えに自信をもち、表現する。

4 研究の目標

児童が、自分の考えを広げ深めることができる授業を展開し、説明文教材における児童の読解力を向上させる。

5 研究の仮説

「多様な考えにふれることができる話し合い活動」と「自分の考えを再度見つめ直す活動」を取り入れた「思考の見える化」（思考を可視化する授業展開）を行えば、児童の読解力が向上するであろう。

6 研究の内容

- (1) 「授業づくりのステップ」を基にした指導過程を考え、児童が見通しをもって主体的に取り組めるための授業を行う。
 - ① めあての設定
 - ・学級の実態に応じ、授業者のねらいに沿った、且つ児童に分かりやすいように
 - ② 「思考の見える化」
 - ・児童一人ひとりの考えやその変容を、自分や他者に見えるような工夫
 - ③ 「多様な考えにふれることができる話し合い活動」（「〇〇タイム」）の工夫
 - ・目的の確認、場の設定、視覚的な手立てなど
 - ④ 「自分の考えを再度見つめ直す活動」（個に戻す「じっくりタイム」）の設定
 - ・学級の実態に応じ、授業者の意図に沿って、児童の考えを表出させる
 - ⑤ ふり返りの視点
 - ・児童自身が、学習の達成感を味わい、学んだ内容を再確認するなど、次時につながる学習意欲と見通しをもつことができるように
- (2) 児童の意識調査の活用（児童の国語科の学習に対する、意識の変化を把握する）
- (3) 学習習慣を身につけさせるために以下のことを取り組む。
 - ①有田っ子スタイル ②朝読書 ③スピーチタイム
 - ④スキルタイム（国語・算数） ⑤ノーメディアデー ⑥暗唱
 - ⑦音読集会 ⑧おすすめの本30冊

7 研究の方法

- (1) 教材分析や児童の実態把握、単元計画等の事前研究（例：A3用紙一枚での俯瞰形式）
- (2) 指導案や発問、板書等の検討・模擬授業・提案授業・研究授業・事後研究
- (3) 文献及び、講師招聘による理論及び実践（師範授業）研究
- (4) 「有田っ子スタイル」の実践と改訂

8 研究組織



9 研究計画

月	内容	月	内容
4	5日：第1回研究推進委員会 ・今年度の校内研究・全体計画・スピーチタイム 24日：第2回研究推進委員会 26日：第1回全体研究会 ・今年度の校内研究・全体計画・スピーチタイム・グループ別打ち合せ（授業日、単元決め）	10	11日：第11回全体研究会 ・指導案検討①（3年） 25日：第12回全体研究会 ・研究授業④（3年） 「すがたをかえる大豆」 ー講師招聘ー
5	8日：第3回研究推進委員会 10日：第2回全体研究会 ー講師招聘ー ・教材分析・師範授業 ・指導案の書き方・意識調査等 24日：第3回全体研究会（グループ研） ・打合せ等（各学年G）	11	1日：第13回全体研究会 ・指導案検討②（5年） 15日：第14回全体研究会 ・研究授業⑤（5年） 「固有種が教えてくれること」 ー講師招聘ー 29日：第15回全体研究会（グループ研） ・打合せ等（各学年G）
6	1日：第4回全体研究会 ・提案授業（研究授業①）（4年） 「アップとルーズで伝える」 ー講師招聘ー 14日：第5回全体研究会（グループ研） ・打合せ等（各学年G） 28日：第6回全体研究会 ・研究授業②（2年） 「たんぼぼのちえ」	12	4日：第4回研究推進委員会 6日：第16回全体研究会 ・研究授業⑥（6年） 『「鳥獣戯画」を読む』 ・校内研究のまとめの提案
7	5日：第7回全体研究会（グループ研） ・打合せ等（各学年G）	1	24日：第17回全体研究会 ・授業の実際と成果と課題について
8	2日：第8回全体研究会 ー講師招聘ー ・教材研究（3年） 「すがたをかえる大豆」 25日：第9回全体研究会（グループ研） ・打合せ等（各学年G）	2	13日：第5回研究推進委員会 22日：第18回全体研究会 ・校内研究のまとめ ・次年度の研究テーマの検討
9	6日：第10回全体研究会 ・研究授業③（1年） 「単元未定」	3	

※下学年…全校研（1）、G研（2） 上学年…全校研（2）、G研（1）

※なかよし1組・2組も授業を公開し、事後研究会を適宜行う。

令和5年度 校内研究構想図

学校教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成

研究主題

自分の考えを広げ深めることができる児童の育成
～国語科を中心とした、話し合い活動の工夫を通して～（2年次）

研究の目標

児童が、自分の考えを広げ深めることができる授業を展開し、説明文教材における児童の読解力を向上させる。

研究の仮説

「多様な考えにふれることができる話し合い活動」と「自分の考えを再度見つめ直す活動」を取り入れた「思考の見える化」（思考を可視化する授業展開）を行えば、児童の読解力が向上するであろう。

研究の内容

教師の授業力向上

考えを広げ深めるための学習指導の工夫

- ① めあての設定
- ② 「思考の見える化」
- ③ 「多様な考えにふれることができる話し合い活動」の工夫
- ④ 「自分の考えを再度見つめ直す活動」の設定
- ⑤ 繰り返しの視点

「思考の見える化」
思考ツール
思考スキル

「多様な考えにふれることができる話し合い活動」
目的・進め方・意欲・交流・共有・整理

「自分の考えを再度見つめ直す活動」
付加 修正 強化

家庭との連携

学習習慣定着のための取組

- | | |
|--------------|-------------------|
| ① 【有田っ子スタイル】 | ② 【朝読書】 |
| ③ 【スピーチタイム】 | ④ 【スキルタイム（国語・算数）】 |
| ⑤ 【ノーメディアデー】 | ⑥ 【暗唱】 |
| ⑦ 【音読集会】 | ⑧ 【おすすめの本30冊】 |